



沼津工業高等専門学校

電気電子工学科





電気自動車「PIUSプロジェクト」始動



沼津高専に改造が容易な組み立て分解型の電気自動車(EV)「PIUS」がやってきました。定格出力0.6kWの直流モータと容量38Ah、36Vのバッテリーを積んでいます。現在E科学生9名のメンバーで、PIUSプロジェクトを行っています。まずはEVの仕組みを学ぶために、37工程の分解作業と、41工程の組み立て作業を行い、機械系、電装系を理解しました。組み立て時には各パーツで決まっている締め付けトルクどおりに締め付けるので、初回は非常に慎重に作業を行い、4時間ほどの時間を要しました。

組み立てたPIUSでの構内試運転ではメンバー皆興奮していました。これから学生たちが自分たちの発想で、面白いPIUSプロジェクトを進めてくれるのを楽しみにしています。



電気電子工学科の卒業生から

沼津高専設立から60年を超える年月が経過しました。設立当初から設置されていた2学科のうちの1つである電気工学科、つまり現在の電気電子工学科は、これまで2千人を超える卒業生を社会に送り出しました。その一人一人が、国内に限らない数多の企業で今なお活躍中です。そんな中から今回は、5名の卒業生に近況を寄せていただきました。活躍する卒業生をぜひご覧ください。



私は1996年に電気工学科を卒業し、NTTファシリティーズに入社しました。現在は業務移管を経て、NTTアノードエナジーで岐阜エリアの責任者として業務を行っています。当社では、全国のNTTグループの通信ビルに設置されている通信装置へ安定した電気を送るための電源装置の構築・保守運用業務を行っています。全国の通信サービスをエネルギーで支えています。沼津高専入学時には「電気やコンピューターのことを勉強したい」程度の気持ちでしたが、20年以上働いた今振り返ってみると「電気全般の基礎知識」「実験や研究で得られる実践力」は技術者としての大きな武器だったと感じています。

また、沼津高専は第二種電気主任技術者の認定校です。卒業することで電気設備の保安監督者に必須資格である電気主任技術者、第三種よりも上位の第二種を実務経験だけで申請できることも大きな武器だと思います。社会では多くの高専卒業生が技術者として活躍しています。沼津高専の電気電子工学科で楽しく学んで「人からのよい優秀な技術者」を目指してみたいはいかがでしょうか。

写真は安全パトロールの風景。右が本人。

NTTアノードエナジー株式会社 東海支店 岐阜支店長 石原 豪（平成7年度卒業）



電気電子工学科の卒業生から



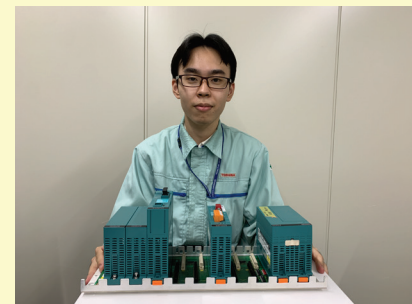
私は2008年に卒業し、トヨタ自動車東日本(株)に入社しました。会社ではクルマのコンセプト企画を担当した後、現在は生産工場の現場改善に取り組んでおり、企画から生産ま

で幅広い分野を経験しています。その中で日々感じることは、高専時代に培ったスキルが今の自分の基盤になっているということです。特に今の自動車業界は電動化や自動化の進化が顕著であり、電気・電子の知識は重宝されます。

社会で活かせるスキルを学べるのも高専ならではの思いです。まず、「実験を行って報告書を作成して周囲に伝える」という社会人にとって基本的かつ最も重要な能力を自然と身に着けることが出来ました。更には、寮生活でコミュニケーション能力や周りを大切にすることを培えたのは私の大きな武器です。会社では1人で出来る仕事は無く人との繋がりが重要であり、チームで成果を出す際にその力が活かされています。

社会で若くから活躍したいならば、沼津高専の電気・電子工学科は最適な選択だと思います。

写真は新型AQUA発表会で記者団の質問に応じたところ
トヨタ自動車東日本株式会社 製造革新部 革新技術創造
Gr 玉木 秀斗 (平成19年度卒業)



私は電気電子工学科を2020年3月に卒業し、東芝プラントシステム株式会社へ就職しました。現在の業務はシステム制御用の監視制御盤の設計から現地調整まで行っています。私

が携った設備の例は、製品の特性や動作を確認するための試験設備などです。制御には、プログラミングに加えて、センサやモータなど学生時代に学んだ知識が活かしています。私が高専を目指した動機は、中学生の頃から電気に関するモノづくりに興味があったからです。そして、社会人になって高専生活を振り返ると、充実の学びだったと思います。職場は新しい課題への挑戦の連続ですが、高専の毎週の学生実験と報告書作りを通して学んだ「知らないことに出会っても、理由を調べながらまとめる力」が役立っていると感じます。また、高専では専門の基礎を固めることができましたが、これは専門知識を効率的に学ぶのに役立ちます。皆さんも沼津高専の電気電子工学科でハイレベルなエンジニアを目指してみませんか。

写真は私が設計した試験設備用制御装置
東芝プラントシステム株式会社
土谷 律斗 (令和元年度卒業)



私は2015年に電気電子工学科を卒業し、その後、東京工業大学(現・東京科学大学)に編入、大学院修士課程を修了後、(一財)電力中央研究所に入所しました。現在は、電力システムの安定性向上に貢献する制御手法や、再生可能エネルギー電源・負荷のモデリングに関する研究に従事しています。電気電子工学は、家庭や産業、インフラなど、私たちの日常生活のあらゆる場面で利用されており、

その実用性の高さを実感しやすい分野です。高専では、電気・電子回路、電磁気などの基礎から応用まで、幅広く体系的に学ぶことができ、さらに実験を通じて理論の理解を深めることができます。5年間という時間をかけてじっくりと学ぶことで、電気の基礎がしっかりと身につく、その学びは大学や社会での研究活動はもちろん、日常生活にも活かしていると日々実感しています。

高専での5年間は、学びだけでなく、自分自身を大きく成長させてくれる貴重な時間でした。ぜひ進学先の選択肢として、電気電子工学科を検討してみてください。
(一財)電力中央研究所 増田 宗紀 (平成27年卒業)



私は2022年に電気電子工学科を卒業し、J-POWER(電源開発株式会社)に入社しました。そこで私は陸上風力事業に関する業務を担当しています。その中でも特に保守高度化のための技術開発、例えば風車を点検

するドローンやAIの活用などを行っています。昨今のエネルギー問題に対して重要な立ち位置にある風力発電に関わることに、日々やりがいを感じています。

高専5年間では低学年からの専門科目の講義や、本格的な機器を用いた実験で高度な専門知識を学ぶことができます。専門科目は難しそう…と不安に思うかもしれませんが、電気電子工学科では縦の繋がりが強く、先輩から勉強を教えてもらう機会(Eスタ)もあります。私もEスタに参加し、自分の不安な部分を解消したり、後輩に勉強を教えることもありました。電気電子工学科だからこそできたこれらの経験は、非常に価値のあるものになっています。

電気電子はあらゆる分野に精通する学問であるため、入学してからきっと自分の学びたいことも見つかると思います。迷っている方こそぜひ一度電気電子の世界に足を踏み入れてみませんか?

電源開発株式会社 (J-POWER)
小川 日菜子 (令和3年度卒業)

最近5年間の就職・進学状況

分類	R2～R6(カッコ内は人数で赤字は女性)
専攻科 ・ 国公立大学	沼津高専専攻科(18+2) 長岡技術科学大学(11) 豊橋技術科学大学(8) 筑波大学(6) 東北大学(3) 東京農工大学(2+1) 東京工業大学(2) 横浜国立大学(2) 電気通信大学(2) 弘前大学(2) 山梨大学(2) 信州大学(1+1) 神戸大学(1+1) 山形大学(1) 福井大学(1) 埼玉大学(1) 名古屋大学(1) 大阪大学(1) 香川大学(1)
私立大学	豊田工業大学(3) 工学院大学(2) 大阪産業大学(1) 立命館大学(1)
進学合計	78名
就職合計	107名

分類	R2～R6(カッコ内は人数で赤字は女性)
電気機械器具	浜松ホトニクス(8+1)、明電エンジニアリング(2)、明電舎(2)、キャノンメディカルシステムズ(2)、富士電機(2)、東京ウエルズ(2)、キャノン(1)、キャノンシステムアンドサポート(1)、キャノンマーケティングジャパン(1)、京セラ(1)、テルモ(1)、ニコン(1)、アルバック(1)、三栄ハイテックス(1)、日立アドバンスシステムズ(1)、パナソニックコネクト(1)、日立ハイテクサイエンス(1)、東芝キヤリア(1)、ローム浜松(1)、JASM(1)、パナソニック(1)、ファナック(1)、日星電気(1)、ベックマン・コールター(1)
自動車・船舶	スズキ(1)、エヌ・イーケムキャット(1)
食品	サントリースピリッツ(3)、ヤクルト本社-富士裾野工場(2)
化学工業	富士フイルム(1)、旭化成(1)、白石工業(1)
医薬品	アステラス製薬(3)、中外製薬工業(3)、シミックCMO(1)、第一三共プロファーマ(1)
日用品	花王(1)
石油	出光興産(1)
建設	東レエンジニアリング東日本(2)、JFEテクノス(1)、千代田組(1)、大林組(1)、メタウォーター(1)、東京電設サービス(1)
設備	日本オーチスエレベータ(2)、フジテック(2)、第一テクノ(1)、Mテック(1)、三菱電機ビルソリューションズ(1)、日立ビルシステム(1)
建設機械	日立建機(1)
電気・ガス業	中部電力(3+1)、電源開発(1+1)、東京電力(2+1)、関西電力(1)
放送	NHKテクノロジーズ(1)
情報サービス業	ハンズ(1)、テクノサイト(1)、任天堂(1)、エイジング(1)
鉄道・道路・航空・運輸	富士宮通運(2)、e.teamANA(1)、JR東海(東海旅客鉄道)(1)
不動産・サービス業	ヤマハコーポレートサービス(4)、森トラスト・ビルマネジメント(2+1)
小売業	アマゾンジャパン(2)
公務員	海上自衛隊(1)、国立印刷局(1)

進路の概要

◎進学：編入学という制度により、高専卒業後は大学の3年生に編入できます。しかも受験は国立大学・工学部を主として、何校でも受けられます。ただし東大や京大といった一部の大学では、教育課程の都合で2年生に編入します。

◎就職：昨年の2024年度も、就職希望の約20名に対して700にもなる企業から求人をしていただきました。そして今年度は1000社を上回る、1350もの企業から求人をいただいています。

電検2種認定学科なのも電気電子工学科だけ！
産業界ではこの資格所持者が求められています。

沼津工業高等専門学校電気電子工学科
<https://www.numazu-ct.ac.jp/>
<https://blog.ee.numazu-ct.ac.jp/>

